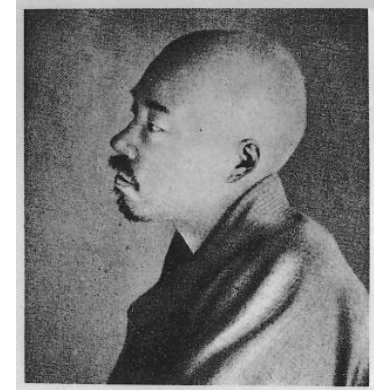


だいせんの偉人先人たち～大仙市にゆかりのある偉人先人たち～

まさおか 子規



【分類】 ぶんがくしゃ 文学者

【生没年】 1867年 ～ 1902年
(けいおう 慶応3年) (めいじ 明治35年)

えひめけん 愛媛県出身。日本近代文学に多大な影響を与えた正岡子規は、はいくかくしん 俳句革新に燃える明治26年夏、おううりょこう 奥羽旅行の紀行文「はて知らずの記」の旅で大曲を訪れ、次の句を残している。

(夕月ほのかに大曲の町に入りて旅店に投す 「夕月や 車のりこむ 大まがり」)

なお、令和5年は、正岡子規が「はて知らず」の旅で大曲にらいほう 来訪して130周年に当たることから、これをきねん 記念し後世に伝えるため、旧羽州街道沿いにある「まるこばし きょうじょうこうえん 丸子橋 橋上公園」に句碑を建立。令和5年8月7日に句碑除幕式じよまくしき を行い、地域の新たな資源として広く情報発信じょうほうはっしん している。

出典 国立国会図書館「近代日本人の肖像」
財団法人子規庵保存会編「子規はて知らずの記」<草稿> (2007年9月)